



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月4日

上場会社名 TOA株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6809 URL <http://www.toa.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)井谷 憲次  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理本部長 (氏名)田中 利秀 (TEL) (078)303-5620  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 平成27年12月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	21,008	11.0	1,201	2.3	1,269	△8.3	694	△16.4
27年3月期第2四半期	18,929	3.1	1,175	0.3	1,385	2.7	831	18.3

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 433百万円(△64.1%) 27年3月期第2四半期 1,209百万円(△37.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	20.52	—
27年3月期第2四半期	24.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	51,610	40,960	75.7
27年3月期	54,371	41,371	72.7

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 39,077百万円 27年3月期 39,514百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	10.00	—	21.00	31.00
28年3月期	—	10.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

27年3月期配当金の内訳 安定配当20円 業績連動配当11円

28年3月期配当金(予想)につきましては、平成27年5月7日に「平成27年3月期決算短信」にて公表したとおり、安定配当20円に業績を加味して、連結配当性向35%を目安に決定いたします。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,500	9.6	4,700	10.9	4,800	1.6	3,050	3.5	90.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年3月期2Q	34,536,635株	27年3月期	34,536,635株
28年3月期2Q	673,472株	27年3月期	673,077株
28年3月期2Q	33,863,387株	27年3月期2Q	33,865,482株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

当社は、平成27年11月18日(水)に機関投資家向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、国内では企業収益が好調に推移するなど、緩やかな回復傾向にありました。海外では、米国経済の回復基調が持続し、欧州では景気回復の兆しが見られた一方で、中国の景気減速による世界経済への影響など、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下、企業価値である「Smiles for the Public ——人々が笑顔になれる社会をつくる——」を実現するため、よい製品の供給だけに留まらず、付帯するソフトウェアやサービスなどを付加したソリューション型ビジネスを強化し、事業の拡大に努めております。また、世界5地域ごとの地産地消のビジネスモデルを加速するため、上期においては地域におけるマーケティングと商品開発に注力してまいりました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は21,008百万円（前年同四半期比+2,079百万円、11.0%増）となりました。利益については、原価率の上昇や販売費及び一般管理費の増加はあったものの、売上高の増加により営業利益は1,201百万円（前年同四半期比+26百万円、2.3%増）、経常利益は1,269百万円（前年同四半期比△115百万円、8.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は694百万円（前年同四半期比△136百万円、16.4%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(日本)

売上高は12,442百万円（前年同四半期比+456百万円、3.8%増）、セグメント利益（営業利益）は1,988百万円（前年同四半期比△83百万円、4.0%減）となりました。

駅舎や鉄道車両などの交通市場向けの売上高が増加しました。ワイヤレス機器を中心に、教育市場向けの販売も堅調に推移しましたが、為替円安による原価率の上昇などにより、セグメント利益は減少しました。

(アメリカ)

売上高は2,000百万円（前年同四半期比+839百万円、72.4%増）、セグメント利益（営業利益）は42百万円（前年同四半期比+69百万円）となりました。

ワシントン地下鉄やニューヨーク地下鉄などの鉄道車両向けや、アメリカや中米で官公庁向けにインターカムの売上高が増加したことなどにより、売上高、セグメント利益は増加しました。

(欧州・中東・アフリカ)

売上高は2,561百万円（前年同四半期比+138百万円、5.7%増）、セグメント利益（営業利益）は249百万円（前年同四半期比△28百万円、10.2%減）となりました。

フランスでスポーツ関連施設向けの売上高が増加しました。また、中東で官公庁向けや南アフリカで駅舎向けの販売が伸びましたが、原価率の上昇などにより、セグメント利益は減少しました。

(アジア・パシフィック)

売上高は3,051百万円（前年同四半期比+444百万円、17.1%増）、セグメント利益（営業利益）は357百万円（前年同四半期比+54百万円、18.2%増）となりました。

地域商品の売上高がインドネシアを中心に増加したことに加え、マレーシアやベトナム、タイでの販売が堅調に推移したことなどにより、売上高、セグメント利益は増加しました。

(中国・東アジア)

売上高は953百万円（前年同四半期比+199百万円、26.4%増）、セグメント利益（営業利益）は191百万円（前年同四半期比+92百万円、92.5%増）となりました。

台湾・香港での販売が堅調に推移したことや、中国で地域商品の売上高が増加したことに加え、為替円安による影響もあり、売上高、セグメント利益は増加しました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は51,610百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,761百万円の減少となりました。資産の部における減少の要因は、売上債権の減少などによります。負債及び純資産の部における減少の要因は、仕入債務の減少、配当金支払による利益剰余金の減少などによります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は17,912百万円となり、前連結会計年度末に比べ317百万円の増加となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純利益による増加1,269百万円、減価償却費438百万円、売上債権の減少額3,087百万円、たな卸資産の増加額△314百万円、仕入債務の減少額△1,132百万円、法人税等の支払額△645百万円などにより、営業活動による資金の増加は1,551百万円となりました。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

生産設備や本社設備の取得による資金の減少460百万円などにより、投資活動による資金の減少は444百万円となりました。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

配当金の支払710百万円などにより、財務活動による資金の減少は688百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期の業績予想につきましては、「平成27年3月期決算短信」で公表しております当初予想から変更しておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ・税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## (会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,034	16,184
受取手形及び売掛金	11,170	8,058
有価証券	2,300	2,500
商品及び製品	5,869	5,834
仕掛品	750	1,016
原材料及び貯蔵品	2,536	2,575
その他	1,262	1,321
貸倒引当金	△138	△132
流動資産合計	39,785	37,359
固定資産		
有形固定資産	6,682	6,678
無形固定資産	1,427	1,417
投資その他の資産		
投資有価証券	5,714	5,304
投資その他の資産	772	853
貸倒引当金	△10	△2
投資その他の資産合計	6,476	6,155
固定資産合計	14,585	14,250
資産合計	54,371	51,610
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,478	3,323
短期借入金	1,011	1,127
未払法人税等	611	374
引当金	344	214
その他	2,405	1,643
流動負債合計	8,851	6,683
固定負債		
退職給付に係る負債	2,633	2,551
その他	1,514	1,414
固定負債合計	4,148	3,966
負債合計	12,999	10,649
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,279	5,279
資本剰余金	6,866	6,866
利益剰余金	23,881	23,864
自己株式	△392	△392
株主資本合計	35,635	35,618
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,301	3,002
為替換算調整勘定	559	407
退職給付に係る調整累計額	17	49
その他の包括利益累計額合計	3,879	3,459
非支配株主持分	1,857	1,882
純資産合計	41,371	40,960
負債純資産合計	54,371	51,610

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	18,929	21,008
売上原価	10,377	12,225
売上総利益	8,552	8,783
販売費及び一般管理費	7,377	7,581
営業利益	1,175	1,201
営業外収益		
受取利息	14	22
受取配当金	37	35
為替差益	91	—
その他	84	80
営業外収益合計	228	138
営業外費用		
支払利息	8	11
為替差損	—	51
その他	9	7
営業外費用合計	18	70
経常利益	1,385	1,269
特別利益		
固定資産売却益	42	—
特別利益合計	42	—
税金等調整前四半期純利益	1,427	1,269
法人税等	468	415
四半期純利益	959	853
非支配株主に帰属する四半期純利益	127	158
親会社株主に帰属する四半期純利益	831	694

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	959	853
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	572	△298
為替換算調整勘定	△473	△152
退職給付に係る調整額	151	31
その他の包括利益合計	249	△420
四半期包括利益	1,209	433
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,093	274
非支配株主に係る四半期包括利益	115	158



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,427	1,269
減価償却費	389	438
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△0	△14
受取利息及び受取配当金	△51	△58
為替差損益 (△は益)	48	△1
支払利息	8	11
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△1	△138
固定資産売却損益 (△は益)	△42	-
売上債権の増減額 (△は増加)	2,224	3,087
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,067	△314
仕入債務の増減額 (△は減少)	△360	△1,132
未払金の増減額 (△は減少)	△168	△361
その他	△375	△642
小計	2,028	2,144
利息及び配当金の受取額	52	58
利息の支払額	△5	△5
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△790	△645
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,285	1,551
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△221	△242
定期預金の払戻による収入	263	219
有形固定資産の取得による支出	△192	△264
有形固定資産の売却による収入	170	1
無形固定資産の取得による支出	△156	△195
貸付金の回収による収入	0	0
その他	△11	37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△146	△444
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	167	113
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	-	0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△33	△33
配当金の支払額	△608	△710
非支配株主への配当金の支払額	△56	△58
財務活動によるキャッシュ・フロー	△531	△688
現金及び現金同等物に係る換算差額	△204	△101
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	402	317
現金及び現金同等物の期首残高	15,296	17,594
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,698	17,912

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連 結損益計 算書計上 額
	日本	アメリカ	欧州・中東 ・アフリカ	アジア・パ シフィック	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	11,985	1,160	2,423	2,606	754	18,929	—	18,929
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,988	11	3	2,049	1,578	6,631	△6,631	—
計	14,974	1,172	2,426	4,655	2,332	25,561	△6,631	18,929
セグメント利益又は損 失(△) (営業利益又は営業損 失(△))	2,072	△27	277	302	99	2,725	△1,549	1,175

(注) セグメント利益の調整額△1,549百万円には、セグメント間取引消去△72百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,476百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額
	日本	アメリカ	欧州・中東 ・アフリカ (注2)	アジア・パ シフィック	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	12,442	2,000	2,561	3,051	953	21,008	—	21,008
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,268	9	2	2,299	1,918	7,499	△7,499	—
計	15,710	2,009	2,564	5,350	2,872	28,508	△7,499	21,008
セグメント利益 (営業利益)	1,988	42	249	357	191	2,830	△1,628	1,201

(注1) セグメント利益の調整額△1,628百万円には、セグメント間取引消去△46百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,581百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

(注2) 第1四半期連結会計期間より、従来の「欧州・ロシア」から「欧州・中東・アフリカ」へとセグメントの名称を変更しております。なお、セグメント名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。これに伴い、前第2四半期連結累計期間についても、当第2四半期連結累計期間と同様に「欧州・中東・アフリカ」と記載しております。